

Course number		U-LAS07 10013 LJ31									
Course title (and course title in English)		日本の社会と法 Society and Law in Japan		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Law Professor,HATTORI TAKAHIRO					
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Understanding Japan					
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A		Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters		2024・Second semester	
Days and periods		Mon.2		Target year		1st year students		Eligible students		International students	
[Overview and purpose of the course]											
この授業は、日本社会について十分な知識をもたない留学生を対象とし、日本社会の仕組みとその特徴を平易な日本語により解説するものである。社会の仕組みを主な対象とし、法制度についてもわかりやすく解説する。留学生が日本社会で暮らすにあたり、しばしば直面する問題も取り上げたいと考えている。											
[Course objectives]											
日本社会の基本的な仕組みに関する理解を得ること。											
[Course schedule and contents)]											
履修者数や授業の進度により変更する場合があるが、おおむね以下のテーマについて、この順序で授業を進めていく予定である。											
1. 日本の社会と法 2. 日常生活と法 3. 消費生活と法 4. 国の統治のしくみと法 5. 地域の暮らしと法 6. 家族生活と法 7. 外国人と法 8. ジェンダーと法 9. 犯罪と法 10. 企業活動と法 11. 労働と法 12. 医療と法 13. 報告（参加者による自由研究報告） 14. 報告（参加者による自由研究報告） 15. フィードバック											
授業は、オンラインで行う場合は、Zoomによる同時双方向方法で行います（対面での実施が可能な時は、対面授業に移行します）。本学のLMS（学習管理システム）である「PandA」も利用し、教員からの資料の提供や、学生からのリアクション・ペーパーの提出、意見交換などを行います。											

Continue to 日本の社会と法(2)											

日本の社会と法(2)

[Course requirements]

- ・ Kyoto University International Undergraduate Program生専用科目
- ・ 原則として日本語上級レベルの学生を対象とする。但し、中級IIレベル（日本語能力試験N3を有しN2を目指すレベル）も履修可能とする。

[Evaluation methods and policy]

授業への参加度（短いアクション・ペーパーの提出を求め場合があります）、発言内容、研究報告を総合的に評価する。

[Textbooks]

指定しない。授業の1週間前までに課題となる文書をKULASIS（またはPandA）にアップロードする。

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

参加者は、あらかじめ配布された文書を読み、内容を理解するとともに、疑問点をまとめてくること。

[Other information (office hours, etc.)]

質問は授業後にお受けします。あるいはメールにてご連絡いただければ、別途時間を設けます。